

ひまわり



令和元年9月3日(火)

学びに向かう姿勢



昨日の全校集会では、和食の料理人さんから聞いた「物事に取り組む姿勢の上中下」という話をしました。

昔は、中学校を卒業して住み込みで働く料理人の卵が多かったそうです。下働きの頃は、延々と続く洗い物や下ごしらえの連続。そんな中で、先輩の技を盗み取ることに注力したそうです。

昨今は、中卒で就職する人は皆無で、料理の専門学校を卒業してくる人が多くを占めているとのこと。しかし、専門学校で学んできたことと、現場の実務では少なからず違いがあるので、あらめて学び直す必要があるそうです。

この時、どのような姿勢で学びに向かうかによって、その後の成長に大きな違いが出てくるといいます。それを次の言葉で表しておられました。

「自ら進んで取り組むのは上、人の真似で終わってしまうのは中、指示されてするのは下。」どのような仕事でも、最初は下からのスタート。そこで努力をして中の段階に上がり、さらなる努力と自ら学ぼうという姿勢で上の段階になります。また、この姿勢は生涯に亘り持たなければなりません。一流と言われるようになって、そこで歩みを止めてしまうと、そこから先は何ら成長はありません。この段階を、辛抱と努力で一段ずつ上っていくことが大切だと思います。若い人に古い考えを押しつける気はありませんが、変わらない価値観は、若い人にも継承してもらいたいですね。」

このお話は、日々の学習、仲間と共に取り組む行事、部活動、学校や家庭での生活など、さまざまなことにあてはまるものではないでしょうか。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

【東住吉中学校】で検索



QR code

東住吉中学校HP → <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j742691>